(C−9) カードを使って数の和の大小を考える②

ねらい	カード を使って、正負の数の加法を考え、その和の大きさを考えることができる。

◆ カードゲームをします。ゲームのルールは、二人で対戦し、山札から2枚のカードを引き、その2枚のカードの合計点で競います。2数の和が大きい方が勝ちです。さて、Aさん、Bさんどちらが勝ったでしょうか？。

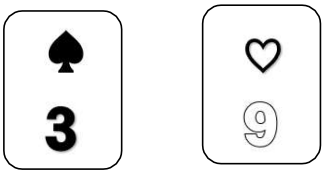
カードの ♣ ♠ は正の数を表します。カードの ♡ ◊ は負の数を表します。

POINT

$(-3)+(-7)$
$= -3 \quad -7$
と表すことができます。

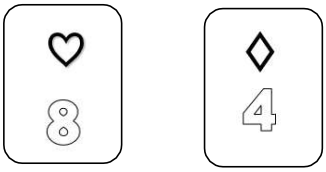
$(-4)+(+6)+(+8)+(-9)$
$= -4 \quad +6 \quad +8 \quad -9$
と表すことができます。

A



$+3 \quad -9$
$= \quad -6$

B



$-8 \quad -4$
$= \quad -12$

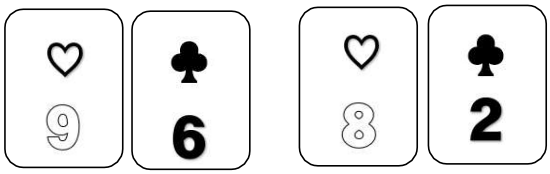
絶対値を比べると、 $6 < 12$

だから負の数の大きさを比べると、絶対値が大きいほど数は小さくなるので、

$-6 > -12$ （答） Aの勝ち

【問題】 Aさん、Bさんどちらが勝ったでしょうか。

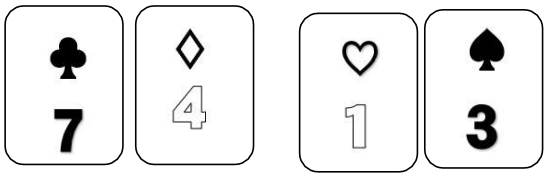
① A B



$-3 > -6$

（答） A の勝ち

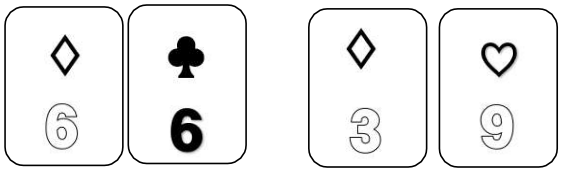
②A B



$+3 > +2$

（答） A の勝ち

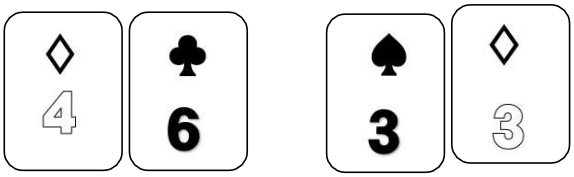
③ A B



$0 > -12$

（答） A の勝ち

④A B



$+2 > 0$

（答） A の勝ち

年 組 番 名前